



【教育目標】
 ききびと
 先人の熱いところを受け継いでふるさとに生きる力を育む
 真理を探究する人
 友情を大切にする人
 創造し実践する人
 健康で明朗な人

11月1日(金)の5校時に、令和元年度後期生徒総会が行われました。新生徒会書記局長と新委員長にとって、選挙後初めての大きな仕事でした。

大勢の人の前で後期の活動案を発表したり、学級から出てきた質問や意見に対する答弁をしたりするのは、やはり緊張するものですが、それでも、一生懸命に説明する姿に、着実な成長を感じることができました。

3年生の前書記局長、委員長にとっては、最後の生徒総会となりました。これまで自分たちが新篠津中学校を背負ってきたのだという自負を感じる堂々としたものでした。

今回の生徒総会では、各委員会から具体的な活動内容が提案されました。中には、これまでになくないような全く新しい

いじめ撲滅宣言

- いじめを未然に防ぐために
自分の気持ちだけでなく、相手の気持ちも考え、悪いことをおぼれないようにしましょう。そして、いじめがどういふことなのか改めて考えてみましょう。
- いじめているあなたへ
いじめはすぐにやめましょう。いじめは相手や自分の将来を暗くしていきます。二度と繰り返さないように強く反省しましょう。
- いじめられているあなたへ
嫌なことがあっても、誰かにもいじめられている人へ相談しましょう。あなたの気持ちは必ず届きます。
- いじめを見ているあなたへ
見て見ぬふりをするあなた。あなたもいじめられているのと同じです。勇気を出して止めましょう。また身近な人に相談しましょう。
- まわりの大人の皆さんへ
私たちの助けて欲しい気持ちに気付いてくれていますか？大人のみなさんに声をかけてもらえると私たちは安心します。いざという時、私たちを助けてください。

最後に
以上のことを守り、私たち生徒会員はいじめを未然に防ぎ、よりよくなる学校にしていきたいです。そして生徒会員でいじめのない新篠津中学校を作り上げていくことを誓います。

令和元年11月1日
新篠津村立新篠津中学校 生徒会

「アイディアも盛り込まれており、この先が楽しみになりました。また、各学級から質問や意見が出され、議論を交わす場面も見られました。」
 より良い学校を自分たちの手で築いていこうとする本校生徒会の今後の活躍が予感できる充実した生徒総会となりました。

いじめ撲滅宣言採択

生徒総会の最後に「いじめ撲滅宣言」が満場一致で採択されました。新篠津中学校の全生徒が、あらためていじめは絶対にしていない、絶対に許さないという決意をしました。

いじめ撲滅宣言の中に、「いざというとき、私たちを助けてください」というフレーズがあります。

これは、生徒に関わる全ての大人へ向けたメッセージです。新中生全員が安心して毎日を過ごせるような環境づくりや見守りをしていきたいと思えます。これからも保護者、地域の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

豪勢なランチに舌鼓

3年生がバイキング給食を堪能

11月5日(火)に3年生がバイキング給食を堪能しました。小学校6年生以来の久しぶりのランチルームでの給食でした。普段もとてもおいしい新篠津村の給食ですが、バイキング給食は、ホテルのビュッフェを思わせるような豪勢なものでした。

事前に菅沼先生の食育の指導を受けていますので、カロリー計算や栄養バランスを考えながら給食を食べるのですが、中には目の前



のご馳走に、つい食べ過ぎてしまった生徒もいました。

新篠津村の給食を食べて育った3年生も、あと4カ月ほどで卒業し、9年間の給食ライフも終わります。生徒代表の言葉の中には、おいしい給食を提供してくれた給食センター職員の皆様や関係機関の皆様への感謝の気持ちが溢れていました。

冬場の悪天候を想定して

小中合同集団下校訓練

小中合同集団下校訓練が、11月11日(月)に行われました。昨年度も何度か、天候の急変で集団下校や臨時休校を経験しました。災害等も含めて、「日常から心構えをしっかりと持つ」ことが、この取り組みの大きなねらいです。

はじめに体育館で、中村先生と白木環境委員長から登下校に関わることやバス乗車の約束事、中学生は小学生の手下となることなどが確認されました。その後、教員の引率のもと、地区ごとにまとまって下校



しました。

集団下校訓練が実施された3日後の14日(木)は、暴風雪警報が発令されたため、集団下校が実施され、早速、集団下校訓練の成果が試されました。学校に帰着連絡を入れるのを忘れた生徒が何人かいましたが、下校後一時間半ほどで、全員の無事帰宅が確認されました。

NIE石狩地区セミナーで

3年生社会科の授業を公開

11月12日(火)に本校でNIE石狩地区セミナーが開催され、本校の社会科(公民的分野)の授業を公開しました。

NIEとは学校などで新聞を教材として活用する教育活動のことです。授業内容は「現代の民主政治と社会 地方政治と私たち(新しいのつ村の村長選挙に立候補しよう)」で、実際に自分たちが住んでいる地域に近い「仮想自治体の村長選挙」がモチーフとなっていました。現実の社会とのつながりを考察するために新聞を教材に使い、授業の中で活用していました。

中学生ならではの柔軟性と鋭い切り口で村の将来や政策などを発



表するグループがあり、授業を参観した方々から感嘆の声がもれる一幕もありました。

生徒一人ひとりが、自分のふるさとの現在や未来について真剣に考え、見つめなおす貴重な機会にもなりました。

救命講習

心肺蘇生法などを体験

4名の新篠津消防署職員の方を講師として迎え、11月13日(水)に、2、3年生を対象に救命講習を行いました。

異物除去や心肺蘇生法などを具体的に教えて頂き、実際に訓練用の人形を用いて体験しました。講習の最後に、2、3年生を代表して、2年生の嶋君が感謝の言葉と、万が一救命の場面に遭遇した時の心構えを述べました。

通学用のカバンについて

保護者の皆様から生徒のカバンの重さについてのご相談を受けました。そこで本校では、任意に選んだ生徒のカバンの計量を一定期間行いました。その結果、以下のような数値が出ました。

平均重量	7.8 kg
最も重い日	10.9 kg
最も軽い日	3.6 kg

カバンの重さが体に及ぼす影響に関するいくつかの論文によると、カバンの適正重量は体重の15%~20%なのだそうです。本校生徒の体重データから、体重の15%は7.7 kgと判明しました。

部活動用のカバンや生徒の体重差なども考慮しながら、今後検討していこうと考えております。

なお、カバンのタイプは肩掛けのものは、肩中央部にかかる荷重圧が大きくなることや、左右のアンバランスにつながることから、推奨できません。リュックが最も良いとされています。

今後も専門的見地を参考にしながら検討していきますが、当面の目標としてカバンの重さが生徒の体重の**15%程度**になるようにしていきたいと考えております。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。